

「ピアザで培われていた! ホームステイで人と向き合う力」

—「世界に通じる力を育てる」—NPO 法人「多言語広場 CELULAS のメルマガ」—第 68 号—

みなさん、ゴールデンウィークはいかがでしたでしょうか？

セルラスでは、このゴールデンウィークを利用して「ぜひ韓国ホームステイを実現させたい!」と、社会人や家族メンバーが 9 名集まり、ホームステイに出かけてきました。

今回は一人で参加したお父さんと、幼いお子さんと一緒のお母さんの感想をご紹介します。

初めてのなのに、たくさん話げできた! 楽しかった! と、ことばに関しては何の不安も見せずに過ごせたお二人。セルラスとの関わりにも触れています。ぜひ、ご一読ください!

【目次】

《1》 「ピアザで培われていた! ホームステイで人と向き合う力」

●「家族に負けじとチャレンジしたホームステイ」

神奈川県川崎市在住 尾本さん（家族構成：妻、長男小 5）

●「自分が日本人であることを忘れるような楽しい時間」

東京都新宿区在住 田中さん（家族構成：夫、長女 4 才、長男 1 才）

《2》 セルラス インフォメーション

《1》 「ピアザで培われていた! ホームステイで人と向き合う力」

●「家族に負けじとチャレンジしたホームステイ」

神奈川県川崎市在住 尾本さん（家族構成：妻、長男小 5）

【チャレンジしたきっかけ】

今回単身ホームステイに行ってみようと思ったきっかけは、やはり家族の存在でした。

セルラスには家族三人で参加してピアザにも通っているのに、ホームステイしたのは妻と息子のみ。その話になると自分についていけない。

しかも息子は、今年の夏に一人でホームステイに行こうとしているのに!

これはチョッと悔しい。そしてなんか寂しい・・・。

ここらでそろそろ、自分も本気をだしてチャレンジしてみようじゃないか! と思いました。

ただ、言葉の事や、自分の年齢（オジサンが 1 人）を考えると、まさにストーリーブックに出てくるお父さんの気持ちでした。

【ホームステイのコツ—赤ちゃんになりきること】

そんな時に理事長からホームステイのコツを教えてくださいました。
それは、「赤ちゃんになりきる事」です。これはとても役に立ちました。

韓国で一番使った言葉は「イゴン ハングンマル ボラゴヘヨ？」（これは韓国語で何て言いますか？）です。

赤ちゃんになったつもりで「あれは何？」「これは何？」といっぱい聞いていくとホストが全部教えてくれて、
そうすると次に「イルボンマル ボラゴヘヨ？」（日本語では何と言いますか？）と聞き返してくれる。
そこから少しずつ会話が広がっていきました。

【ピアザの活動が力に】

私は若いころから旅行が好きでよく一人で行って行きました。でも、今回はそれとは違う楽しみがありました。

人と一緒にご飯を食べる事、遊ぶこと、風呂に入ること、ホストの子の塾に行って習字をすること。
みんな人と一緒にするから楽しいのだと思いました。

そして、何よりも「話すこと」。これは一人では絶対できないし、こんなに話したのは初めてです。

通じないこともあるけれど、お互い目を見てしっかり話す、なんとか通じる、もう少し通じる、もっと通じる。
そんなふうに、だんだんと通じていく自分が驚きで、楽しかったです。

韓国のCDを聞いて話せる気になっても、いざ人に向かってみると思っていたように話せませんが、
ピアザという場で、人に向かって話すことでより話せる！みんなで共有した言葉が出てくる！
という実感に変わっていったのだと思います。

毎週のピアザの大切さがより身に染みたホームステイになりました。

●「自分が日本人であることを忘れるような楽しい時間」

東京都新宿区在住 田中さん （家族構成：夫、長女4才、長男1才）

セルラスに入会して2年になりますが、今回初めて4歳の娘と一緒に、韓国のホームステイに参加することに
しました。

ホームステイでは、できるだけ韓国語で話そうと思い、知っている単語や、ピアザで覚えた言葉を声に出すと
コミュニケーションが取れて本当に嬉しかったです。

【人と向き合って伝えられる力】

持ち寄りパーティでは、同世代のママたちの会話にも混ぜてもらいました。

最初に一人のママが「明日、結婚記念日なの」と言いだし、チュッカヘー（おめでとう）とみんなで
お祝いから始まりました。

私のホストママのエミリーが、「明日、私は法事なのよ」と面倒くさそうに言いだしたら、

「それって、私の結婚記念日が、命日と同じってこと！？」という話になって、普通に日本で友達と話していても
ありそうな話題だなあとと思いました。

そのあと、私に「どれが美味しかった？」と訊いてきたので、「チョンブ マシツ！（全部美味しかった）」って答えたら、「ホントはメクチュ（ビール）でしょ?!」って突っ込まれたり・・・。

ある質問では、「日本人って、グラスに飲み物が残っててもつぎ足すんでしょ?どうして?」と訊かれて、「フル イズ ベスト!」という私の拙い英語でも伝わり、みんなで笑って、まるで自分が日本人であることを忘れるような楽しい時間でした。

「正確な言葉じゃなくても大丈夫、人と向き合って伝えることが大切なんだ」というセルラスやピアザの雰囲気の中で、話そうという勇気が生まれ、それがこんなにも楽しい時間を過ごすことに繋がったのかもしれないですね

【言語の壁がない4才の娘】

また、4才の娘はピアザでも何語という壁が無く言っていますし、年上のお姉ちゃんたちや大人に対しても自分の日本語がどうだとか考えるわけもなく、話したい、伝えたい気持ちに溢れているので、私も娘を見習って、ホームステイにチャレンジしようと思いました。

ちなみに、そんな娘は韓国の人たちに対しても、堂々と日本語で話に入ろうとする姿を見せてくれました。

アウトレットに連れて行ってもらった時に、娘が髪ゴムがほしいというので、店員さんに「イゴ オルマ?」（これいくらですか?）って聞いてごらんと促しました。

それが伝わったお陰なのかはわかりませんが、帰国後、そのフレーズが入っているストーリーの最初の部分を、自分から嬉しそうに言うようになっていたのには驚きました。

帰国後もピアザのみんなが報告を聞いてくれるので、韓国の体験も韓国語も、親子共々、さらに膨らんでいくのが楽しみです。

《2》 セルラス インフォメーション

◆講演会「世界に通じる力を育てる」のお知らせ◆

講演会「世界に通じる力を育てる」の基調講演が各地で行われます。

今回は初めて品川区でも開催されます。お近くにお住まいのお友達やお知り合いの方にぜひ、お知らせください。

▼関東

<品川>

5/29（火）午前・6/1（金） 午前

<厚木>

6/4（月）午前・6/6（水）午前

<杉並>

6/8（金）午前・6/11（月）午前

▼関西

<芦屋>

6/20（水）午前・6/21（木）午前

お申し込みはホームページ <http://www.celulas.or.jp> または
本部事務局 03-5333-8202 info@celulas.or.jp までご連絡ください。

◆セルラスでは機関誌『CELULAS(セルラス)』を発行しています。

このメールマガジンと併せてセルラスの活動内容を楽しく紹介しています。

最新号9号では、「セルラスの目指す世界」について、当法人の理事長が書いております。

また特集「教えて『あなたの取り組み』」では、メンバーたちの多言語活動に取り組む中での発見がたくさん掲載されています。

ホームページでもご覧になれますので、ぜひご一読ください。

⇒ http://celulas.or.jp/?page_id=399

このメールマガジンは、セルラスの会員をはじめ、これまでセルラスが開催した講演会、セミナーに参加されるなど、私たちの活動にご興味を寄せいただいた皆さんにお送りしています。セルラスの多言語活動や異文化体験、楽しい交流の様子などを、より多くの皆さんに知っていただくために発行しています。

日頃の私たちの活動やご家族で参加していただけるイベントや講演会などのお知らせを、月2回の予定でお届けします。